

東京都議会議員選挙 告示日
都民ファーストの会 党代表コメント

いよいよ本日、東京都議会議員選挙が告示されました。我々都民ファーストの会は、47名の公認候補を擁立し、真に小池知事を支ながら、命・暮らしを守り抜くために新型コロナウイルス感染症対策に全力で取り組み、東京大改革をさらに進めるため、公認候補全員の当選を目指します。

都民ファーストの会は、これまでも小池知事と連携し、国に先駆け都の政策をリードしてきました。議員提案で「東京都子どもを受動喫煙から守る条例」を成立、この流れを受けて都も国に先駆け「東京都受動喫煙防止条例」を制定しました。また、長い期間約8000人だった待機児童はこの4年間で約9割減となり、4年前に都民の皆様にお約束した377項目の公約は206項目が達成済み、約81%が達成または達成に目処となっています。

今回の都議選において、都民ファーストの会は、「ふるくておそい頼れない国を はやくてあたらしい頼れる東京が動かす」とのテーマのもと、大規模接種施設をはじめ、都の施設を徹底活用した1400万都民を守る「爆速」ワクチン接種で経済活動再開を進めるとともに、国に収奪された都民の皆様への税金年間約7600億円の返還を求め、世帯年収に応じた年間最大15万円の給付でコロナ禍の都民生活を強力支援する「都民ファーストケア」の実現など、9つの重点政策を含む、都民ファーストの会ならではの数々の公約をお示ししています。

東京オリンピック・パラリンピック大会については、私共は「国が開催を強行する場合、無観客での開催」を強く求めました。こうした私たちの声に、小池知事も先日の5者協議の場において「状況に応じて無観客も含めて検討する必要がある」旨発言され、協議結果にも盛り込まれました。選挙告示日の現段階でも、すでに政策が着実に前進しています。昨今の新規感染者数の増加傾向も踏まえ、本選挙期間中も、「都民の皆様への命と暮らしを守り抜くことを最優先、あらゆる選択肢を視野」に、開催の場合には無観客での開催を引き続き訴えて参ります。

さて、先日、こうしてこれまでも車の両輪として連携し都政を共に前に進めてきた、我々都民ファーストの会特別顧問である小池知事が「過労による静養」の旨の報道がありました。都民の皆様には、大変なご心配をおかけしています。

小池知事は、この一年半ほとんど休みなくコロナ対策やオリパラ調整など都政に集中されており、緊張と決断に迫られる日々でいらっしやいました。都庁職員からは、こんなに働く知事はこれまでいなかったとの声をよく聞きます。入院され今週は公務を離れるとのこと、十分に静養して頂きたいと考えます。

今回の選挙においても、小池知事には、ポスターやビラ等に推薦人として応援をいただいています。一日も早い回復を願うとともに、選挙では小池都政を支える都民ファーストの会としてしっかり戦い抜き、また小池都政を支え、都民の皆様のために全力を尽くしてまいります。

改革はまだ始まったばかり。コロナ禍の中、都民の命・暮らし・経済を守り抜き、改革を前に進め、新しい東京を切り拓いていくためには、4年前の「古い都政」「古い議会」に戻すわけにはいきません。これからも都民の皆様への声を都政に届けるべく、全力で戦い抜いて参ります。